

## 元肥とよく使う化成肥料 横浜軟弱、8-8-8、成分と施用量

	畑のカルシュウム
肥料の名称	くみあい硫カル 20Kg 粒状・袋入り
種別	特殊肥料 (土づくり)
成分量	(特殊肥料のため、成分保証なし)
特長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水によくとけるので、作物に効果的に吸収される。</li> <li>2. カルシュウムの吸収が良いので、品質向上と病害を予防します。</li> <li>3. 硫黄も同時に補給しますので、作物の生理作用を活発にします。</li> <li>4. 土壌 pH (弱酸性) を変化させません。</li> </ol>
作物に期待される効果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 野菜の場合は、健全に生育されるので耐病性を増し、鮮度、貯蔵性の向上が期待されます。</li> <li>2. 果樹の場合は、カルシュウム欠乏に由来する各種障害の克服と果実の着色を促進させ、熟期を揃えるとともに、糖度を高め品質向上が期待されます。</li> <li>3. 花きは、茎葉を丈夫にし、首折れ等を防ぎ、花もちを良くします。</li> <li>4. 豆類は、根粒菌の増殖を促進し、子実の充実を増加させます。</li> </ol>
施肥量	10a (1000 m <sup>2</sup> ) (1反)あたりの施肥基準 野菜類・果樹・花き・豆類・その他牧草、芝 = 基肥 100Kg (5袋) 100g/1 m <sup>2</sup> 堆肥と併用すると効果的です。100g/m
その他	化学肥料と合わせて、堆きゅう肥などの有機物と土壌改良に役立つ無機質資材を適正に施し、調和のとれた土づくりに心がけましょう。

品名	BM 重焼燐																	
肥料の名称	くみあいホウ素マンガン入り苦土重焼燐 20Kg 粒状・袋入り																	
種別	加工リン酸肥料 (土づくり)																	
成分量	(重量%) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>く溶性りん酸</td> <td>内水溶性りん酸</td> <td>く溶性苦土</td> <td>く溶性マンガン</td> <td>く溶性ホウ素</td> <td>内水溶性ホウ素</td> </tr> <tr> <td>3.5%</td> <td>1.6%</td> <td>4.5%</td> <td>1%</td> <td>0.5%</td> <td>0.1%</td> </tr> </table>						く溶性りん酸	内水溶性りん酸	く溶性苦土	く溶性マンガン	く溶性ホウ素	内水溶性ホウ素	3.5%	1.6%	4.5%	1%	0.5%	0.1%
く溶性りん酸	内水溶性りん酸	く溶性苦土	く溶性マンガン	く溶性ホウ素	内水溶性ホウ素													
3.5%	1.6%	4.5%	1%	0.5%	0.1%													
特長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. りん酸、ホウ素とも、水によくとける速効性と、うすい酸に溶ける長効性の両方の成分を含んでいます。</li> <li>2. この苦土は、作物に吸収されやすい、りん酸苦土の形です。さらにホウ素・マンガンがバランス良く入っていますので、水稻はもちろん、野菜・果樹、牧草や飼料作物にも好適です。</li> <li>3. 焼成燐を顔料としており、石灰・けい酸もむくまれています。</li> <li>4. 他の肥料と安心して配合できます。</li> <li>5. 施肥燐酸の役目と土づくりの二役を引き受けます。</li> <li>6. 土づくり肥料として土壌診断に基づいて施用してください。</li> </ol>																	
施肥量	10a (1000 m <sup>2</sup> ) (1反)あたりの施肥基準 野菜類・果樹・花き・豆類・飼料作物・イモ類 40-60Kg (2-3袋) 40-60g/1 m <sup>2</sup> 、100g/m																	

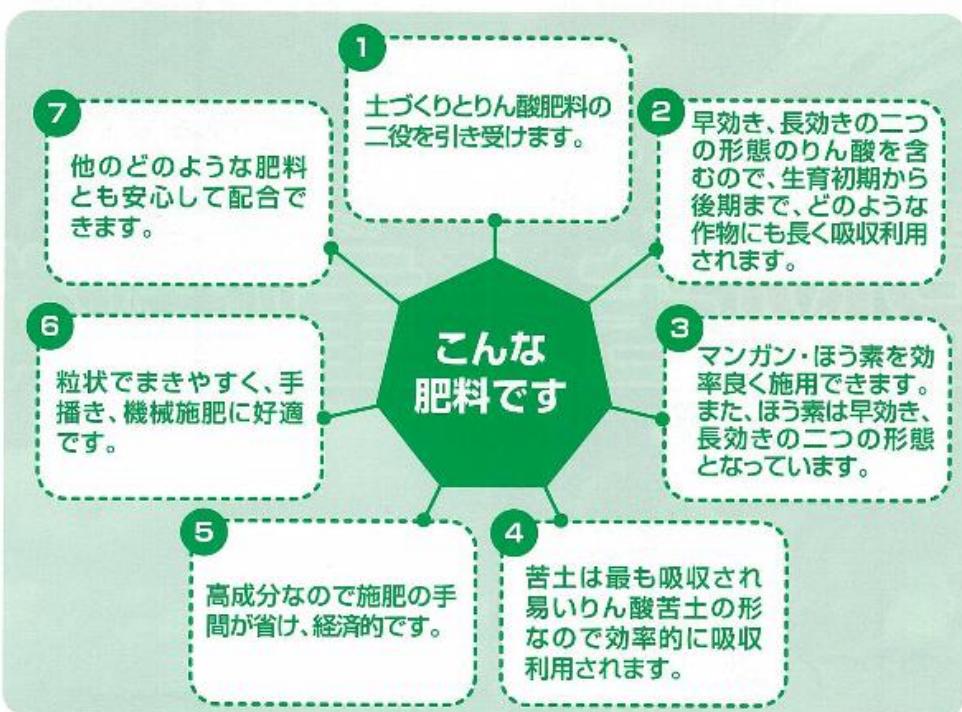
# BM 重焼燐

## ●保証成分(%)

く溶性 りん酸	内水溶性 りん酸	く溶性 苦土	く溶性 マンガン	く溶性 ほう素	内水溶性 ほう酸
35	16	4.5	1.0	0.5	0.1

## ●その他の成分(分析例%)

全けい酸	石 灰	鉄
6~8	20	2



## 施し方と施用量

耕起前に全面に施すと、土づくりに役立つと共に、りん酸肥料としての役割を十分に果たします。

### ●標準的な施用量(10a当たり)

そ 菜	水 稲・麦	果 樹	茶・桑	牧 草	豆 類	花 卉
2~4袋	1~2袋	2~4袋	2~3袋	2~3袋	1~2袋	2~3袋

※作物の種類、栽培法・土壤分析に基づいた適切な施肥を心がけましょう。詳しくは最寄りのJAもしくは農業技術指導機関等にお問い合わせ下さい。

品名	硫マグ (通称)																							
肥料の名称	くみあい硫マグ 20Kg 粒状・袋入り																							
種別	硫酸苦土肥料 (土づくり)																							
成分量	水溶性苦土 25% (重量%)																							
特長	<p>くみあい硫マグは海水中のマグネシウム <math>Mg</math> 成分を化学的に取りだした純度の高い肥料です。水溶速効性です。 (苦土=マグネシウム)</p> <p>中性ですから、他の肥料と混合できます。</p> <p>湿気の多いところに長く保管すると団結(吸湿)することがあります。</p>																							
作物に期待される効果	光合成の活性化、植物体の重要な酵素の活性化、炭水化物の合成量増大に役立ちます。また、リン酸の吸収を高め糖度のアップと品質向上に役立ちます。																							
施肥量	10 a (1000 m <sup>2</sup> ) (1 反)あたりの施肥基準																							
その他	<table border="1"> <tr> <td>お茶・桑</td> <td>80-100Kg /1000 m<sup>2</sup></td> <td>80-100g/1 m<sup>2</sup></td> <td>お茶 桑 2-3月 50% 3-5月 50% 4-7月 20% 6-9月 50% 8-9月 30%</td> </tr> <tr> <td>果樹類</td> <td>50-70Kg /1000 m<sup>2</sup></td> <td>50-70g / 1 m<sup>2</sup></td> <td>3-5月 50% 6-9月 50%</td> </tr> <tr> <td>果菜・豆類</td> <td>60-80Kg /1000 m<sup>2</sup></td> <td>60-80g / 1 m<sup>2</sup></td> <td>元肥 70% 追肥 30%</td> </tr> <tr> <td>葉菜・根菜類</td> <td>40-60Kg /1000 m<sup>2</sup></td> <td>40-60g / 1 m<sup>2</sup></td> <td>元肥 70% 追肥 30%</td> </tr> <tr> <td>稻、麦、芝</td> <td>20-40Kg /1000 m<sup>2</sup></td> <td>20-40g / 1 m<sup>2</sup></td> <td>元肥 50% 追肥 50%</td> </tr> </table> <p>化成肥料と合わせて、堆きゅう肥などの有機物と土壌改良に役立つ無機質資材を適正に施し、調和のとれた土づくりに心がけましょう。</p>				お茶・桑	80-100Kg /1000 m <sup>2</sup>	80-100g/1 m <sup>2</sup>	お茶 桑 2-3月 50% 3-5月 50% 4-7月 20% 6-9月 50% 8-9月 30%	果樹類	50-70Kg /1000 m <sup>2</sup>	50-70g / 1 m <sup>2</sup>	3-5月 50% 6-9月 50%	果菜・豆類	60-80Kg /1000 m <sup>2</sup>	60-80g / 1 m <sup>2</sup>	元肥 70% 追肥 30%	葉菜・根菜類	40-60Kg /1000 m <sup>2</sup>	40-60g / 1 m <sup>2</sup>	元肥 70% 追肥 30%	稻、麦、芝	20-40Kg /1000 m <sup>2</sup>	20-40g / 1 m <sup>2</sup>	元肥 50% 追肥 50%
お茶・桑	80-100Kg /1000 m <sup>2</sup>	80-100g/1 m <sup>2</sup>	お茶 桑 2-3月 50% 3-5月 50% 4-7月 20% 6-9月 50% 8-9月 30%																					
果樹類	50-70Kg /1000 m <sup>2</sup>	50-70g / 1 m <sup>2</sup>	3-5月 50% 6-9月 50%																					
果菜・豆類	60-80Kg /1000 m <sup>2</sup>	60-80g / 1 m <sup>2</sup>	元肥 70% 追肥 30%																					
葉菜・根菜類	40-60Kg /1000 m <sup>2</sup>	40-60g / 1 m <sup>2</sup>	元肥 70% 追肥 30%																					
稻、麦、芝	20-40Kg /1000 m <sup>2</sup>	20-40g / 1 m <sup>2</sup>	元肥 50% 追肥 50%																					



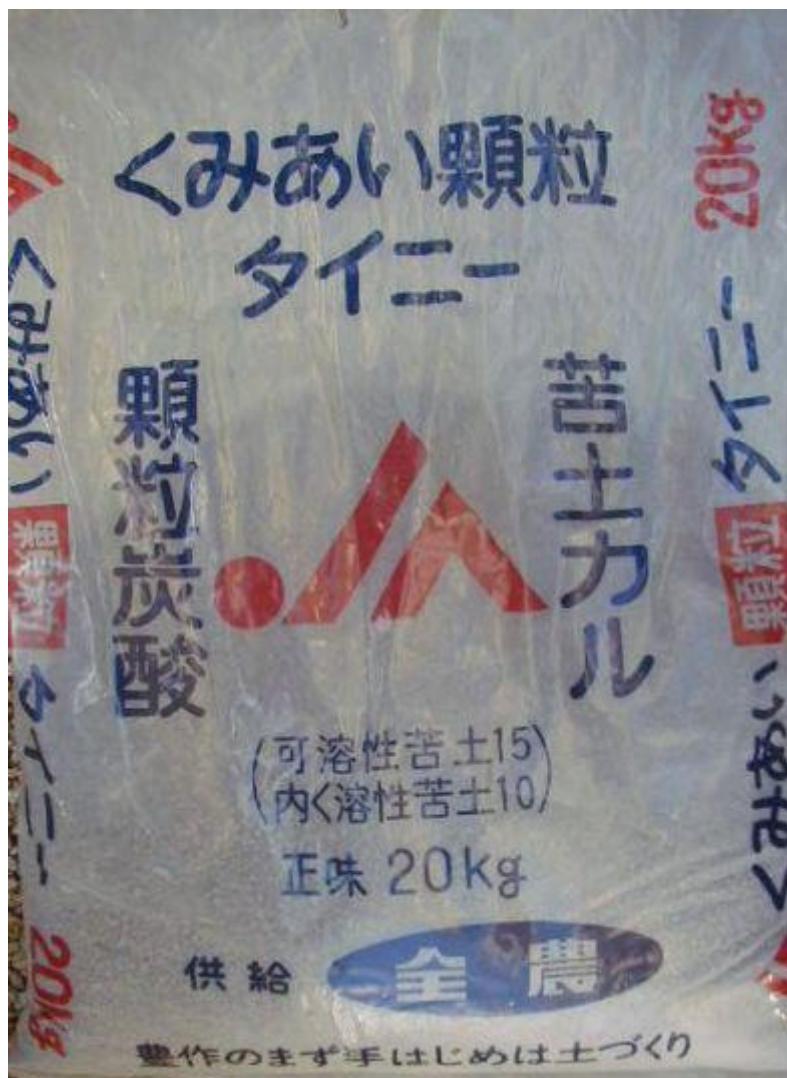
### 特長

- 速効性肥料につき、元肥・追肥を問わず、施用後すばやく効果を発揮します。
- 2~4ミリの粒状品と粉状品があります。

### 成分

保証成分	含有成分 (分析例)					
	けい酸	マンガン	ほう素	鉄	銅	亜鉛
水溶性苦土	0.08%	1ppm	0.08%	0.03%	1ppm	2ppm
25%						

品名	タイニー	
肥料の名称	顆粒炭酸・苦土カル 20Kg 粒状・袋入り	
種別	酸性土壌、土壌改良	
成分量	(重量%)	
	可溶性苦土	内溶性苦土
	15%	10%
特長	収穫後の土壌中和用として散布しています。また、酸性に弱い野菜の播種や植え付けの前にも使用。(石灰 = カルシウム = 炭酸カルシウム) 苦土カルに発酵残液を乾物として5%混合し造粒したもので、まきやすい	
施肥量	10a (1000 m <sup>2</sup> ) (1反)あたりの施肥基準	
	野菜の基肥	100Kg / 1000 m <sup>2</sup>
		100g / 1 m <sup>2</sup>
* 注意点	タイニーは化成肥料と同時には施用しないように。施肥7-10日前に施用する。 同時に施用すると窒素分が分解されやすくなるため、化成肥料の効きめが減少する。	



品名	粒状 苦土石灰 (造粒状有機物質は作物生育に有効な成分を含んでいます。)								
肥料の名称	粒状 苦土石灰 15 炭カル肥料・袋入り								
種別	炭酸カルシウム肥料、 土づくり、 酸性土壌の中和に効果があります。								
成分量	<p>(重量%)</p> <table border="1"> <tr> <td>アルカリ分</td> <td>可水溶性苦土</td> <td>内く水溶性苦土</td> </tr> <tr> <td>5 5 %</td> <td>1 5 %</td> <td>1 0 %</td> </tr> </table>			アルカリ分	可水溶性苦土	内く水溶性苦土	5 5 %	1 5 %	1 0 %
アルカリ分	可水溶性苦土	内く水溶性苦土							
5 5 %	1 5 %	1 0 %							
特長	<p>苦土(マグネシウム)は5大要素肥料の1つで重要な肥料成分です。</p> <p>NPKの要素肥料を合理的に活用し、特にリン酸の吸収を促進します。</p> <p>野菜・水稻・麦類の増収、果実の甘味を増します。</p> <p>土壌を中和し地力を増します。</p>								
施肥量	<p>酸性の強い土 (PH4.5以下) の場合は、100g/m<sup>2</sup> (100g/m 筋蒔きの場合)</p> <p>一般の土 (PH5.5-6) の場合は 80g/m<sup>2</sup> (80g/m 筋蒔き)、を全面散布して 鋤込みを良く混合してください。</p>								
その他	<p>直射日光を避け、乾燥したところへ、切り口を固く閉じて保管してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マグネシウムは葉緑素の構成元素です。</li> <li>マグネシウムが欠乏すると葉緑素ができなくなり、葉は黄色になります。</li> <li>酸性土壌は一般にマグネシウム欠乏になりやすい。</li> <li>有機質を分解し、地力をします。</li> <li>苦土 (Mg)・石灰 (Ca) のほか、マンガン・鉄分などの微量要素を補給し土を若返らせます。</li> <li>苦土は、葉緑素や酵素として、不可欠であり、光合成に欠かせなく、炭水化物の代謝に関係が深く、土壌改良に絶対に必要です。</li> <li>リン酸の肥料効果を高めます。</li> <li>元肥の場合は土とよく鋤込み、種まき、定植の7日-10日まえに散布し、追肥の場合は畝間や作物の間に施用します。</li> </ul>								

品名	ミネカル					
肥料の名称	20Kg 粉粒状・袋入り					
種別	土壌改良					
成分量	けい酸・酸化鉄・石灰をはじめ、苦土・りん酸・マンガン・ホーソ等の、作物が必要とする多くの肥料成分をバランスよく含んだ、総合的な土づくり肥料です					
特長	<p>鉄分欠乏土壌の改良に効果的です。根こぶ対策としてよく使われます。</p> <p>根腐れ・ゴマ葉枯れ・秋落田を防ぎます。</p> <p>畑の土壌改良に最適です(酸性土壌・老朽土壌の改良)。</p> <p>水稻では、酸化鉄・マンガンが根に活力を与えます。</p> <p>また、けい酸・りん酸・苦土により丈夫な稻を作ります。</p>					
施肥量	<p>10a (1000 m<sup>2</sup>) (1反)あたりの施肥基準</p> <table border="1"> <tr> <td>野菜の基肥</td> <td>100Kg /1000 m<sup>2</sup></td> <td>100g / 1 m<sup>2</sup></td> </tr> </table>			野菜の基肥	100Kg /1000 m <sup>2</sup>	100g / 1 m <sup>2</sup>
野菜の基肥	100Kg /1000 m <sup>2</sup>	100g / 1 m <sup>2</sup>				

品名	横浜軟弱					
肥料の名称	CDU入り横浜軟弱野菜 NP配合 20Kg 粒状・袋入り					
種別	指定配合飼料					
成分量	N-P-K 15-12-0 4.5 苦土 (重量%)					
	窒素全量	内アンモニア性窒素	可水溶性りん酸	内水溶性りん酸	く溶性苦土	水溶性苦土
	15%	11%	12%	10%	4.5%	1%
特長	<ol style="list-style-type: none"> <li>横浜地区の土壤に合わせて設計した配合肥料です。</li> <li>堆肥を多く施用している畑ではカリ残存量の多いかすが見受けられます。横浜軟弱野菜 NP配合はカリ成分が入っていませんので安心して施肥できます。</li> <li>CDU窒素を5%配合しています。CDU窒素は緩効性の窒素肥料で有機質肥料と同様に土壤微生物によって、ゆっくり分解されますので寒期の栽培に特に効果を発揮します。</li> </ol>					
施肥量	10a (1000m <sup>2</sup> ) (1反)あたりの施肥基準					
	コマツナ	60-80Kg /1000m <sup>2</sup>	60-80g / 1m <sup>2</sup>			
	ホウレンソウ・ベカナ	50-70Kg /1000m <sup>2</sup>	50-70g / 1m <sup>2</sup>			
	シュンギク・タカナ	40-60Kg /1000m <sup>2</sup>	40-60g / 1m <sup>2</sup>			
その他	原料としては硫酸アンモニア、化成肥料、過リン酸石灰、加工苦土肥料、尿素、アセトアルデヒド縮合尿素 など					

品名	8-8-8					
肥料の名称	くみあい化成8号 20Kg 粒状・袋入り					
種別	配合飼料					
成分量	N-P-K 8-8-8 (重量%)					
	アンモニア窒素	可水溶性りん酸	内水溶性りん酸	内水溶性加里		
	8%	8%	6.5%	10%		
特長	どんな作物もよく効きますが、特に野菜・水稻・麦類、などの作物に好適です。安心して使える、非常にバランスの良い 100g/m、100g/m <sup>2</sup> で調整できます。一握りで家庭菜園のプランターなどにも使えます。					
施肥量	10a (1000m <sup>2</sup> ) (1反)あたりの施肥基準					
	野菜の基肥	100-200Kg /1000m <sup>2</sup>	100-200g / 1m <sup>2</sup>			
	水稻・麦類の基肥	40-80Kg /1000m <sup>2</sup>	40-80g / 1m <sup>2</sup>			
その他	直射日光を避け、乾燥したところへ、切り口を固く閉じて保管してください。					